

## 内科学Ⅳ教室 専門教授就任のご挨拶



内科学Ⅳ教室 リウマチ膠原病内科 専門教授 武内 徹

この度、令和3年11月1日付をもちまして大阪医科薬科大学医学部 内科学Ⅳ教室 専門教授(リウマチ膠原病内科)を拝命いたしました。

私は1988年(昭和63年)に大阪医科大学を卒業し、同年より母校の第一内科学教室に入局後、当大学附属病院および松下記念病院で研修し内科医としての基礎を積み上げることができました。1989年より第一内科教授として大澤仲昭先生が赴任され、サイトカインを始め分子生物学的研究が盛んに行われ始めていました。元々、免疫学に関心があったこともあり、大澤教授・坂根貞樹先生にご指導いただきながらG-CSFやTNF- $\alpha$ などの研究に関わらせていただきました。槇野茂樹功労教授と間質性肺疾患(ILD)の臨床・研究を始めていたころ、膠原病に関心があった林(旧姓 佐々木)雅子先生が加わり、ILDと膠原病を診るようになりました。非常に多くの症例を経験するなかで中枢神経ループス症例などの重症例があるにもかかわらず、担当する専門診療科が当時の大学においてなかったことから、当科を立ち上げるきっかけでした。リウマチ膠原病における病態の解明・最適な管理・新たな治療法の開発を実現することが、我々の夢であり、信念であります。

膠原病は原因不明の全身性炎症性疾患で、自己免疫が関与していると考えられています。近年、免疫に関わるサイトカインやケモカイン、表面抗原などを標的とする分子標的薬の開発により膠原病の治療は急速に発展しています。関節リウマチ(RA)治療のアンカードラッグであるメトトレキサートは、私が第一内科に入局した1988年に海外で、日本においては1998年に承認を受けた抗リウマチ薬で、その後多くの分子標的

薬が開発されています。膠原病治療の発展とともに膠原病学を志す仲間が少しずつ臨床・研究において成果が出てきました。中でも、生命予後が非常に悪い皮膚筋炎に伴う急速進行性ILDに対する免疫抑制剤併用による早期介入とシクロスポリン血中濃度モニタリングによる管理を提案し(Kotani T, et al. J Rheumatol 2008)、「膠原病に伴う間質性肺疾患の診断・治療指針2020」にも採用されています。その後もILDを中心に膠原病に関連する論文を多く発表し、診療に役立つ研究を進めていきたいと思っております。

膠原病の診療は、より高度化し専門医を有する大学病院や特定の基幹病院が中心に行われています。しかし、専門医や専門施設が不足しており、特定の病院に患者が集中し、患者および医療スタッフの双方に負担が生じています。特に、患者数の多いRAにおいては、他の医療機関との連携での診療が不可欠になります。膠原病の多くが慢性疾患であるため、原疾患、合併症や併発症、治療と長期にわたり向き合うことになり身体的・精神的な負担が大きく全人的な患者ケアができる専門医を育成してまいります。また、内科・整形外科・皮膚科を中心とした近隣の病院や診療所との連携を行ってきましたが、これまで以上に病病・病診連携を強化し膠原病診療のネットワークを構築することが重要であると考えております。当医師会会員の先生方におかれましては、引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。

膠原病診療の発展の一方で、全身性強皮症などの有効な治療がない疾患やILD・肺高血圧症などの難治性病態をもつ患者、高齢患者、妊娠や出産を希望される患者においては治療ガイドラ

インなども十分に整っておらず、これらの診断・治療においても課題も残されています。臨床研究においては、これまでの研究に加えてコホート研究に参画し、臨床の現場に還元できる研究を企画し継続しております。また、難治性病態克服のために創薬に繋がる基礎的な研究を学内外の施設と共同研究しております。現在、炎症性疾患における動脈硬化促進機序の解明、マクロファージを特異的に標的する新規治療開発、ヘパリン活性化脂肪幹細胞による新規治療開発の3つのテーマを中心に研究を進めています。

これまでお世話になった多くの先生方、また共にリウマチ膠原病の診療・研究をしてきた先生方に紙面をお借りしまして感謝申し上げます。最後に、浅学菲才ではございますが、リウマチ膠原病学や大学の発展のために努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

#### リウマチ膠原病内科の最近の研究

1. Matsuda S, et al. Comment on: Nailfold capillaries and myositis specific antibodies in anti-melanoma differentiation-associated gene 5 antibody-positive dermatomyositis. *Rheumatology (Oxford)*. 2021 Nov 3;keab820. doi: 10.1093/rheumatology/keab820.
2. Ota S, et al. Initial serum GM-CSF levels are associated with the severity of cerebral small vessel disease in microscopic polyangiitis patients. *J Neuroimmunol* 2021 Oct 15;359:577671. doi: 10:1016/j.jneuroim.2021.577671.
3. Hiramatsu Y, et al. Pre-pregnancy serum complement C3 level is a predictor of preterm birth for pregnancies with systemic lupus erythematosus. *Arthritis Res Ther*. 2021 May 12;23(1):140. doi: 10.1186/s13075-021-02522-x.
4. Kiboshi T, et al. Comparison of therapeutic effects of combination therapy with prednisolone and tacrolimus or azathioprine on progressive interstitial pneumonia with systemic sclerosis. *Mod Rheumatol*. 2021 Apr 25;1-17. doi: 10.1080/14397595.2021.1918864.
5. Jinno S, et al. Comparison of the drug retention and reasons for discontinuation of tumor necrosis factor inhibitors and interleukin-6 inhibitors in Japanese patients with elderly-onset rheumatoid arthritis-the ANSWER cohort study. *Arthritis Res Ther*. 2021 Apr 15;23(1):116. doi: 10.1186/s13075-021-02496-w.
6. Ebina K, et al. Drug retention of sarilumab, baricitinib, and tofacitinib in patients with rheumatoid arthritis: the ANSWER cohort study. *Clin Rheumatol*. 2021 Jul;40(7):2673-2680. doi: 10.1007/s10067-021-05609-7.
7. Yoshikawa A, et al. The addition of iguratimod can reduce methotrexate dose in rheumatoid arthritis with clinical remission. *Mod Rheumatol*. 2021 Feb 24;1-9. doi: 10.1080/14397595.2021.1892945.
8. Ishida T, et al. Effects of denosumab on rheumatic diseases and refractory glucocorticoid-induced osteoporosis: a prospective study. *Arch Osteoporos*. 2021 Feb 23;16(1):39. doi: 10.1007/s11657-021-00899-5.
9. Matsuda S, et al. CCL2 Produced by CD68+/CD163+ Macrophages as a Promising Clinical Biomarker of Microscopic Polyangiitis-Interstitial Lung Disease. *Rheumatology (Oxford)*. 2021 Jan 25;keab064. doi: 10.1093/rheumatology/keab064.
10. Matsuda S, et al. Evaluation of poor prognostic factors of respiratory related death in microscopic polyangiitis complicated by interstitial lung disease. *Sci Rep*. 2021 Jan 15;11(1):1490. doi: 10.1038/s41598-021-81311-7.